

刊夕 日六月三

# 常磐毒目新聞

定価一冊五円 一月五拾五円 三月一拾五拾五円 半年二拾五拾五円 一年四拾五拾五円  
 日曜祭日の発行金五拾五円  
 発行所 常磐毒目新聞社  
 印刷所 常磐毒目新聞社



## 我に子等あり 我に財あり

真繼 雲山

【五】

それならば佛教ではこの分の財をどう考へるか。我の子に非ずして我等の子であります。子を私有してはいけない。この子は俺の子だぞと私有してはいけないといつて共有にせよといふのではない。子を公けに持つこと、乃ち公有せよと教へる。よく往來を荷馬車が通りますと子供達が荷馬車の後にブラ下る。ブラ下つて馬子に叱られるまで行きます。それだけ馬は、たいしたことはなくとも汗も餘計流さなければならぬ。丁度そのやうに親が子供にブラ下つて行くのが子の私有

## ノート

雑誌王キ 中最も字 数が多いのは懸賞當選者 發表の頁で一頁約二千人 だから一人四字の割とし て八千字

です。子供が荷馬車にブラ下るやうに親が子にブラ下るのです。素より賢い子供であるならば喜んで、親がブラ下る前にもつと、いゝ所へ乗せるでせうが、多く

の親はこの子供といふ荷馬車にブラ下つて行きたがるものです。しかし本當に子供といふものは我の子ぢやない。自分の勝手にこれを私有すべきでない。我等の子であります。天下の合力の子だ決して私すべきものでない。佛教流に申しますれば、子は菩薩です。眞理の世界、乃ち法界の爲めにこの子供をこそ役立たしめなければならぬ。自分が一人で頼りたい。たのしみにしたい。この氣持はお察しする。然し、このたよらうとする氣持はよく思ひ返して行かなければならぬ。『我が子よ、私のこの屍を乗り越えてささへ行つてくれ、私の側に居らないでもいゝ、あて貰ひたいが世の中の爲めに勇ましく戦つて呉れ。私はいゝ、寂しいが私は一人でがまんをしようお前は、この社會の爲めに人類社會の爲めに働いて呉れ』斯ういつた賢い母を持つたいものです。さうしてこの言葉に動かされ、感激せしめられた子供が、又これらの母の爲めにも社會の爲めにも、働かうと云ふ氣持を有つて貰ひたい。斯うした我が子を私しない我が子を公有する氣持になれば「我に子らあり」といふ利己的な楯の代りにわが子をあ

つかひはしない。子供の成長の中にこの上もない満足をもつのです。聽てまた人の子をもわが子とひとしく公有する氣持になる。我が子と思へばこそ人の子を妨げる。人の子を差別待遇しやうとする。「わが子なら供にはつれじ夜の雪」こんな句を思ひ出しますが、我が子ならといふさういふ氣持我が子だから斯ういふ辛ら

○明日の献立  
 ◎味噌汁―葱  
 小付 いかの鹽から  
 ◎ボークチャップ  
 ◎うなぎ飯  
 流し玉子 三つ葉の清汁

い事をさせない、人の子だからといふ、さういふけちくさい自他差別の氣持もこの「われらの子」といふ考への前には解消されて來るでせう。丁度支那の信行禪師が一切の幼き者に合掌したやうに、平等の尊敬をもつてせう。決して私達はおのが子供にオンぶしてはいけません。子供を社會的に子供をもつと大きな名の下に訓育しなければならぬ。さうして自他のために盛りたてなければならぬ。これが本當の子供も生き、我も生き、社會も生きる正しい道です。

## 吉田眼科病院

醫學士 吉田久雄

### 是非!

御融通には御用命下さい  
 萬事便利な御相談に應じます

## 三井質店

平四・電六〇六番

毎度有難う存じます  
**レストラン 平岡館**  
 電話 624

- 一、本科五〇名
- 二、裁縫專修科百名
- 三、專攻科三〇名
- 四、師範科 二〇名
- 五、本科裁縫專修科二學年補欠 若干名

## 藤田女學校

- 一、願書受付 三月三十一日マデ
  - 二、詳細ハ學則請求ノコト
- 平町田町 (電話三二八番)

夜間診療

## 胃腸病性專門

内科 胃腸病科  
 皮膚科 性病科  
 花柳病科

院醫科性病胃腸村松  
 (番七〇一電町南町平)

切貨の御用命は!

電話六四〇番  
 尼子多クシーへ

是非お願いいたします

遠乗りには特に御相談に應じます

かまぼこ製造

## 杉本屋

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

# 不味屋

電話一四一番

# 商工獎勵費の増額や

## 低學年の暖房装置

### 戸数割は幾分低額として

#### 委員會の修正通り可決

平町に於ける昭和十年豫算は昨日午後二時から町會に於いて委員會の修正通り野崎委員の報告を承認可決した。

修正案は、總豫算卅四萬三千八百五十六圓を一千五百五十一圓増額し卅四萬五千四百七圓と改めたものであつて主なる修正は歳出に於いて町長自から減額した俸給を前年通り一千六百廿圓とし助役給料も月五百圓の増給にて一千一百四十圓となり、町長の費用辨償百圓を増し市内三小學校の暖房装置が從來尋常二年級のみならず、

て自任する平町としては餘りに貧弱に失するものとし百圓を増額した上更に雜費中より百圓を削いで是れを繰入れ三百五十圓に改め、特別税 戸数割は一戸平均十圓にて前年度より七十錢の増を平均十七圓五十錢と改めた結果僅か廿錢の増に止どまり八萬七千四百八十圓を八萬五千五百圓に減じ過年度収入を十九圓減額してバランスを合せた。

### 平庶民金庫の

#### 總代改選

##### 競争激化を防止の方針

##### 使用して 居たのを尋

常三年級にも是れを設置する事とし薪炭費の一千三百九十七圓を一千五百九十七圓に増し且つストロブ購入代四百圓を臨時部備品費に増額、其他商業學校と共に旅費修繕費等に於いて多少増額する處あり

公園費も 漸次改善を施す問題から樹木の移植等に百五十圓を増して二百八十五圓とし獎勵費に於いて商工獎勵費が僅か百五十圓である爲め商工都市を以つ

平信用組合庶民金庫にては總代任期満了の爲め来る十三日午後一時より性源寺に於いて改選執行するが前回に於いて改選執行するが前回の競争激化に鑑み金融機關本来の特質に基き平穩裡に是れを終了する様各區に於いて候補者の物色割當等に準備工作を進めて居る因に選舉區域の總代員數左記の如くである

- ノ前 童子町 尼子町 (第二區、二名) 一丁目 二丁目(第三區、二名) 三丁目(第四區、二名) 三丁目(第四區、二名) 三丁目(第五區、二名) 三丁目(第六區、二名) 三丁目(第七區、二名) 三丁目(第八區、二名) 三丁目(第九區、二名) 三丁目(第十區、二名)

### 警中の卒業生

警中第三十五回卒業式は既報の如く明七日午前十時から同校講堂に於て縣知事代理高井教育課長臨席の下に舉行されるが卒業生は左記百八十三名である(印優等生) ○印五ヶ年間級長勳(組順) 藤井正治 政井精敏 香取良一 猪狩一元 ○山崎研治 鈴木克己 渡邊正夫 佐藤茂 安藤知 吉田正賢 山形透 瀨尾善之 安島正雄 坂本文明 菅波正六 鈴木五郎 水野秀三郎 石橋 瀧上岩男 志賀義一 柴田外面二 江尻静男 萩原二郎 藤田正己 若松春雄 三澤清 片寄富二 野口嘉八郎 齋藤利久 三浦登 星野三郎 青木芳朗 沼田保 志賀貞介 小湊秀一 渡邊義雄 山友則 川島次郎 野本 山友則 山口貢 根本富市 江川貴昭 松崎浩加 小島禎三郎 矢吹博信 高杉精一 野木忠 滑川英雄 吉田康吉 小野健一 松崎義忠 丹野敬二 鈴木義教 折笠英夫 佐藤篤 佐藤重盈 蛭田末藏 鈴木武雄 秋山博 中山

胡摩澤 杉平 久保 舊 城跡 七軒 高月 道匠 小路 六人町 八幡小路 櫻町 六間門

民雄 金成孝一 小林美治 福本長司 平館重雄 古川淳 渡邊好暉 鈴木清 山口研次 木田健二郎 山賀鑛作 矢野貞一 馬山功 阿部元彦 宮内一郎 戸田彦明 木村照敷 矢野一夫 阿部敏一 大出重八 中村保 小林利忠 鹽森信 赤津四郎 平 岡清茂 粟谷廣 小野岳良 瀧澤近知 鷹弘 ○○増尾克善 小野

### 町村の財整理を 縣が懇談的に指導

郡下町村で財政整理に困難を感じつつある町村を指導する爲め来る十四日午前九時より平町會議事堂に縣主催懇談會を開き整理對策を種々協議するが参加部落は上遠野、入遠野、川部、田人、永戸、澤渡、川前、泉等である

### 収入役代理 須藤氏昇任

多年平町役場事務係としてその熟達した手腕を認識された須藤鶴之助氏は今回収入役代理者に昇任した

(9)んやちんのよとほお 夫駒郷本



印刷の御用は 設備完全の 『常磐毎日』へ 電話六三〇

# 監禁中の女を救ひ

## 誘拐團の一味検挙

### 平署近來の大手柄

既報酌婦誘拐團の片割れ千葉縣船橋町全農支部員柳右平を檢挙した事から一味及び誘拐された女の住所を突き止めた平署渡邊部長は去る三日午後金子、二瓶兩巡查と共に船橋町に急行四日夜同町五日市一三六全國借家人組合長長正夫(二)方に踏み込み同居初め居合した松崎金太郎(五)を檢挙し押入れに監禁中の大友花枝を救つたが主犯の内海勇吉(四)は巧みに逃走したので平から連れて行つた播摩をおとりに使つて同町旅館月光館で難なく取押へ此處に

# 暗黒化した

## 空襲下の戦闘

### 戦勝記念演習の想定

既報平町に於いては日露戦捷州周年記念として在郷軍人分會、青年團、青年訓練所、平商業等を動員して九日夜より奉天役の模倣演習を實施するので町當局は大掛りな演習委員を擧げ計劃を進めて居るが同夜は「某國との國交危機に瀕し空襲を豫期すべき状態となる」との想定のもとに燈火管制を行ひ町役場内に平町

今回の誘拐事件で暗躍した宮城縣本町郡生れ千葉縣船橋町五日市六四全國農民組合船橋支部長内海勇吉(四)福岡縣糖屋郡大川村生れ同字一三六森五郎部長長正夫(二)横濱市中區生全國借家人組合船橋支部長松崎金太郎(五)の外平町で檢挙せる埼玉縣大里郡寄江町仲町生れ柳右平(三)の一味を完全に逮捕し船橋町で詐欺強盜を働いた長正夫を除いた一味の面々を昨五日夜十一時五十二分平署着列車で押送し來り平署に留置した

# 女子青年幹部が

## 約四百名參集し

### けふ宣言や綱領を決議

既報郡聯合女子青年團の幹部講習會は今日午前十一時から平第二小學校講堂に開催、定刻先づ橋本副會長の開會の辭に次いで一同起立宮城を遙拜して國歌を合唱、津田團長が詔書及び令旨を奉讀して挨拶を述べ青沼平町長の祝辭あり議事に移り協議の結果宣言、綱領申合せを決議し終つて過般の縣聯合女子青年團に出席した内郷團員高木タマエさんの報告、午後より約二時開に亘り一萬通講演行脚二瓶一次氏の「女性と宗教的情操」と題する講演あり午後三時過ぎ津田團長の閉會の辭あつて解散したが出席者約四百名

# 意見發表

登壇者決定  
郡聯合青年團第三部總集

明日のラジオ  
七時

報 今晚も明日も北  
西の曇後天氣良  
くなる

- 今晩の部
- 後六〇〇 (子供の時間)
  - お話銅一 柴山雄三郎
  - 後六二五 基礎英語講座
  - 後七三〇 講演「皇后陛下の坤徳」 關屋貞三郎
  - 後八〇〇 ザ・アイオリン
  - 後九三〇 時報 ニュー
  - 氣象通報 番組豫告

# 各種団体

## 平町補助

平町の各種団体補助金は昭和十年度に於いて左記の如く交付する

- 七十五圓半教育會 四百
- 圓平青年團 八百十圓半
- 女子青年團 五十圓半
- 人會 二百五十圓
- 官院 三百六十圓
- 合 百六十圓
- 五百圓平商工會 五十圓
- 神職會 五十圓
- 會 三百圓
- 會 四百卅五圓

# 教員保母

## 檢定試験

濱通りに於ける本縣小學校教員及び幼稚園保母の檢定試験は来る五月二十日から五日間平第一小學校講堂に於て行はれる

# 納税組合

## 家族慰安

勿來町は明日午前十時より同町青年會館で納税組合

明日の部

- 前七〇一 基礎ドイツ話
- 講座(23) 三浦吉兵衛
- 前七三〇 朝の修養「心學講話」(六) 石川 謙
- 前八〇〇 家庭講座
- 「春先の精神衛生」(京都) 木村 潔
- 後八〇〇 五ラヂオレジュウ「青春の細徑」 田谷方三他
- 後二〇〇 母の時間「子供」の詩に表はれた童心

表彰式を擧げ午後一時からは共榮座に於いて組合員家族の慰安會を開くと

# 弓道講習

## 平署に催す

平町武德會弓道部は來月三日平署で行はれる階級試驗受験者の爲め来る九、十の兩日午後一時より豫備講習會を開くが講師は東京市射覺院の大森氏である

# みのり會懇談

前所長夫人を招待  
平みのり會幹部は夫君が滿洲國に赴任せる留守宅にて子女の教養に努めつゝある前平事務所長本庄吉之助氏夫人と昨日午後一時からマルトモに招き懇談會を開いた

# 百圓迄は

## 町長の自由

競賣規定を改正  
平町の競賣規定に依ると從來五圓以内は町長の自由裁量を以つて決し得る事になつて居たが五圓の金額は餘りに寡少であると爲し同規

# 産馬組合

## 春季總會

石城産馬蓄産組合は来る八日午前十時より團體事務所樓上に區長會を開き本年度豫算及び春季總會開催に就いて協議する

# 區長新任

## 町會に推薦

平町區長及び同代理者中任期満了の各區に昨日町會に於て左記の如く推薦決定(區長)第三區水竹泰助 第廿區山本龍太郎(同代理)第一區龜岡與惣治 第三區水野晃 第十五區井上末吉 第廿區竹島清次郎 第十七區島越由彌 第廿四區新妻唯祐





# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島 樞史  
(査) 野口 運

第六十九回

## 人種答問 (九)

嘉右衛門は朗に笑ふのみだつた。

そしていろいろな皮肉をならべてゐるとき、食堂へも一組の客がやつて来た。

一人は、羅紗帽子にあらひ辨慶縞の紅毛服、一見して馬丁の風采だ。その連れはホテル館の食堂には不釣合な島田番に友禪振袖の浦若い女、それが仲好くテールを圍んで腰かけた。

『ありや、なんぢやい』  
茂平次はそつと給仕にたづねた。

『ホテル館止宿のお客様でございます』

『男は馬丁風情ぢやが、女と一緒に宿つとるか』

『いえ、女の方だけお宿りです、あの馬丁さんは英國公使館のお馬車の馬丁なんださうです』

『うむ……女はらしやめんぢやね』

茂平次の視線は動かない『さうです』

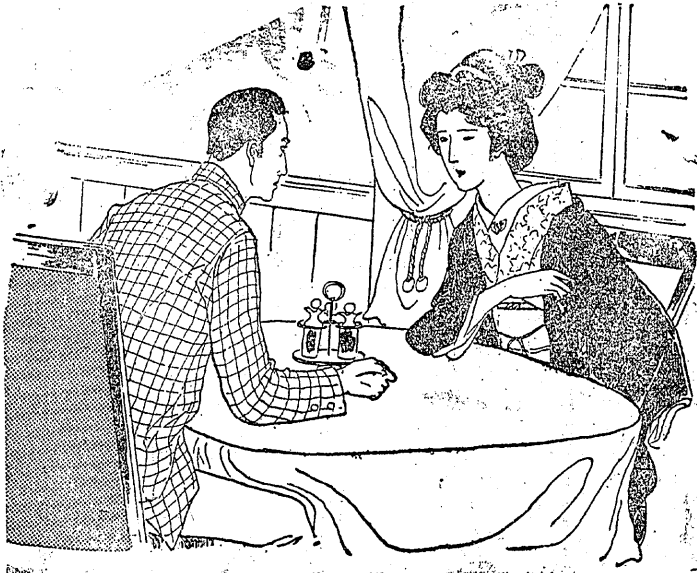
『なるほど……おや、あの馬丁さん……』

茂平次は瞳をかゞかし

『ボーイさん、わしはあの人のところへ挨拶に行かうと思ふが、おまへさん取次いでくださらぬか』

『はい、ですけど、それは……』

『いや馬丁さんに、エトロ



フの高田屋の手代ぢやといふてくれるとわかる』

『は』

ボーイは、ふしぎさうな顔をして、そのまゝむかうのテーブルへいつた。

『あなたの知り合ひかね』

嘉右衛門はそつと訊ねた『はい、妙なことから知り合ひになつたが、まさか馬

丁をしるとはおもはんかつた』

茂平次は、ふだゝび視線を彼方に送つた時、辨慶縞の馬丁はこちらを向いてつと椅子を立ち上つた。

『おう、あなたは……』

茂平次のそばへ来て手をのべたのは、れいの助太刀

の商賣の大志賀だつた。

『やつぱり、あなただつたね、珍らしいところで出合ふた。何しにかういふところへ来ましたか』

『いや、それよりか、所さんあなたこそどうして？』

『わかつてゐる、だが、何しろ政府筋の廻し者が仲に入つて邪魔だして困るんぢや、それにこのごろ、れいの男が公用で横濱へ赴へてゐる』

大志賀は苦い顔をした。『だが、そのとほり辨慶縞の紅毛服を着て、らしやめのお供をして居るところを見ると、近いうちめでたく本懐だらうて……』

茂平次はべら／＼喋べるのを手で制して

『いや、いろ／＼邪魔が入つてうまく商談が成立たぬよ。ハ、ハ、ハ、』

『取引は迅速にせんならんよ』

『わかつてゐる、だが、何しろ政府筋の廻し者が仲に入つて邪魔だして困るんぢや、それにこのごろ、れいの男が公用で横濱へ赴へてゐる』

▽廣告△

### 体温計の検査日です

10日 検新 機設 お宅の体温計は？

◎確な体温計を御使用下さい  
◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人 西村薬屋局  
計量器 平・二電三番

花環 蓮華 造花 本屋  
町川新平橋  
電話一六三番

市土子やあき 魚問屋  
最優最大日本生命平代理店  
志賀 盛榮  
(三一二電) 目丁四平

看護婦急派の求めに應じます  
平町南町 平看護婦會  
電話三〇七番

高久病院  
院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

中野齒科醫院  
院長 日本齒科 中野 惠次  
日本齒科 西川 誠  
平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

一、齒科一般 保存科補綴科 繼續架  
一、工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科  
一、口腔外科 一、レントゲン科

木炭代用 月星豆炭 一八キ口壹袋 金八十錢  
平驛前 阿部石炭商店